

第8回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株)サクラクレパス内
TEL: (06) 6910-8800 FAX: (06) 6910-8837

2008年3月発行

京都伏見・宇治 交流遠足

10月13日(土)京都伏見・宇治への交流遠足を開催しました。秋晴れで絶好の行楽日和の中、大型バス1台満席の54名で出発。伏見のお酒処、月桂冠大倉記念館で日本酒の作り方について説明を受け、利き酒まで楽しみました。ほろ酔いの中バスで移動、10円玉硬貨に描かれていて有名な宇治平等院鳳凰堂・鳳翔堂を3班に分かれて見学しました。昼食後は宇治川や近くの宇治上神社を散策して、その後宇治茶発祥の三星園上林三入本店にお伺いし、常設の三休庵宇治茶資料室に於いて、自分で宇治茶を挽き、点てて、味わう体験をしました。里子はもとより、里親もお茶を挽くのは初めての体験。店主からお手前の作法について教えていただき、それぞれ緊張しながらもお手前を楽しみました。



大月基弘

今回初めてさとおやの会に参加させていただきました大月と申します。私と妻は将来的にスウェーデンへの留学を考えており、スウェーデン人との出会いを探していたところでしたので、素晴らしい機会となりました。私たちの初めて受け入れる里子さんはMarzuki Filip Djawiadjiさんで、スウェーデンのストックホルムから来られた方でした。当日私は彼と初対面で会うことになっていたのですがスムーズに出会えるか少し心配でしたが無事合流。その後皆様とバスで月桂冠大倉記念館に向かいました。実は彼はこの日ほとんど寝ずにやってきたので(前日に友人たちと楽しい飲み会があったそう・・・)あまり体調が優れなかったようでした。バスでは少し仮眠をとり月桂冠に到着。到着すると彼の元気も大分回復し食い入るように中の展示物を見学していました。一番楽しかったのはやはり試飲。Japanese sakeはなかなかのお気に入りの様子でした。その後平等院を見学し、お昼ご飯となりました。そこでは他の留学生たちともいろいろとお話しする機会が持てて良かったです。

素晴らしい秋晴れの中、美しい京都を彼と散歩

しながら話をするうちに人生に対する向き合い方がとても私と似ていて、前向きな人生論を熱く語り合いました。若いうちに多くの旅をし、沢山の経験をするのが将来の自分の人格形成に役に立つという彼の持論は今の日本人の若者にも必要な考え方ではないでしょうか。視野を身の回りの小事から世界の大事へ広げ、グローバルな国際人になることが今後我々には必須事項になってくるはずです。宇治でのお茶の経験はわたしとFilipには新鮮でまた“美味しい”記憶として残るであろうと思われます。

今回皆様のお力添えのお陰で我々里親・里子共々素晴らしい思い出をつくることができました。

厚く御礼申し上げます。



里親と里子

私は2004年から中国青島出身の留学生、于曉雁さんの里親をさせていただいております。元々こうした留学生の支援活動には関心があり、田間貞雄さんの紹介で入会させてもらい、とても素晴らしい里子に恵まれ感謝しております。

于曉雁さんは現在大阪大学の大学院で経済学研究科政策専攻という頭の痛くなりそうな学問に日夜励んでいるとても優秀な学生です。専門書を中国語、日本語、英語の3ヶ国語の原書のまま読みこなせると言いますから羨ましい限りです。3年前対面の会で会ったときにはお互いに筆談で話し合っていた程度の日本語の会話の方も今ではとても流暢になり、日本の若者よりも美しい日本語を話してくれます。でも時々貰う手紙などではテニオハが可笑しくなる時があって、家内共々噴出してしまうことがあります。

私は奈良で七田式の幼児教室を運営しておりますが、教室の行事の折には彼女を呼んで私たちの仕事を少しでも理解してもらうようにしています。また田間さんのお誘いで入った『海事懇話会』という船の趣味の会で年に数回船の旅をしますが、時々彼女を呼び一緒に船の旅をしながら各地の様子を見聞してもらい、日本を理解してもらう機会にしております。その他にはお正月、家族の誕生日、孫の運動会など私の家族の行事の折には家に来てもらって交流を深めるようにしております。

星雅啓お父さんと一緒に、留学生里親の会が主催された見学旅行に参加するのは、これが始めてです。とても楽しみにしておりました。

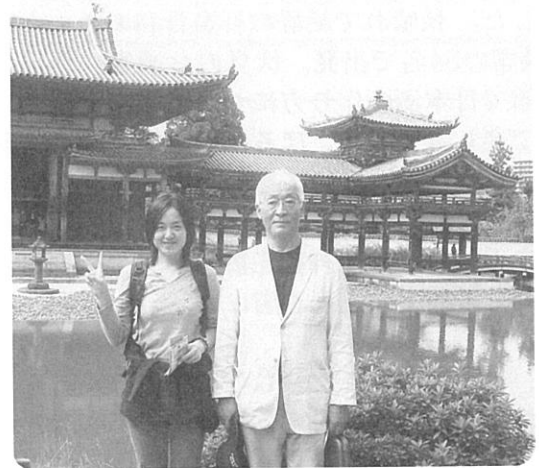
まず、バスが月桂冠大倉記念館に着きました。みんな並んでガイドの月桂冠の名前の由来から、歴史、作り方まで、詳細な解説に耳を傾けていました。月桂冠という木が庭に植えてありまして、「月桂冠」という名前は「勝つ」の意味がありまして、縁起がいいため、名づけたそうです。試飲の段階で、お酒のいい香りが口に漂って美味しいお酒でした！そのうちに幸せの微笑みがみんなの顔に浮かんできました。お土産の店で、お父さんは赤ワインをお土産にしてくださいました。自分が買うよりお父さんから頂いたお酒はきっと更に美味しく味わえるでしょう。

1番感動したのは平等院の遊覧なのです。いい天候に恵まれて、鳳凰堂の姿は大変美しく見えました。主体の建物のデザインはまさに鳳凰が翼を広げるような形で名付けられたそうです。驚くこと、この鳳凰は中国の伝説中の鳳凰イメージと全然違うことでした。鳳凰堂の前に回ってくると、更に手前の翡翠色の池と相互に引き立った鳳凰堂の美しさに感動しました。

里親：星 雅啓

彼女は来春博士号の取得を目指して日夜論文の整理に励んでいます。勉強に疲れた折には会って励ますようにしております。

日本の少子化は予想を上回る速さで進んでおります。このまま進みますと日本の大学は量質共に低下し、国際競争力を失いかねません。ですから今以上に多くの優秀な留学生に日本に来てもらい学んでいただかなければなりません。そのためには里親・里子の会のような民間の支援体制が益々必要になってくるものと思います。

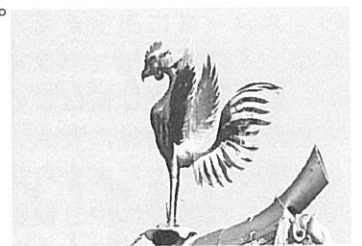


于曉雁さんと星 雅啓さん

里子：于曉雁

鳳凰堂は海の彼岸にある浄土としてたてられたものだそうです。こんなところまで来ると、心が落ち着きます。

印象深いのは宇治川の中に立たれた淑やかな鷺です。少なくとも二羽の鷺は2,3時間も動くことがなくじっと勢い川の中の岩石に立っていました。感心しました。旅行の日から私は、鷺が世界中で一番粘り強い動物だと信じています。その目標に執着力が私を震撼させたのです。



その後、茶道の体験でお父さんがわざわざ正しいお茶の飲み方を教えて下さったのに、今言われたらきっとマナー正しく出来ないと思いますけど。日帰り旅行をきっかけで、何人もの友達が出来て、商店街でうろうろしていて、京都の町の特有な雰囲気をも十分に味わうことができました。

本当に有意義な心を清めるたびでした。

新年交流会の様様

1月14日成人の日に「新年交流会」を開催しました。今年の企画をする時に里親の大森寿美子さんから「2006年度の里子の呉惠恵さんが留学生と結婚する。入籍だけで式はやらない。」という話をお伺いしたので、「では、お二人に紋付袴と振袖を着ていただいて、みんなでお祝いしましょう」と幹事の方々の発案をいただき、お祝いする事になりました。

今回はその事もあって、113名もの人々が集まりました。また、今年も幹事の方々が着物を用意して、着付けを担当。留学生の希望者には着物を着る体験をしていただきました。お陰様で一層賑やかに、華やかに開催する事ができました。

幹事の松浦さんの司会で開会。西村代表幹事の挨拶に始まり、李宝進さん呉惠恵さんの結婚報告。中国人のお二人は実に着物がお似合いで、日本人とも見間違

える位でした。お友達との写真撮影後、幹事長の八木さんから乾杯の発声で、楽しい交流会が始まりました。

お腹も一段落した頃に余興がスタート、と同時に司会は織島さんにバトンタッチ。田仲八重子さんの踊り、続いて留学生と娘さんだけの日本舞踊、松澤さんのトランペット独奏と留学生ミルワン君、田間さんを交えてのハーモニカ合奏、ふれあい独楽藤本さんの篠笛独奏、留学生10名によるパシフィックダンス。会は大いに盛り上がりました。その後はお待ちかねビンゴゲーム。この時の司会は田間さんです。面白可笑しく、参加した里親・里子全員にプレゼントを持ち帰っていただきました。

手作りの新年交流会ですが、これからも皆さんの協力を得て続けていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくご支援ご協力の程お願いいたします。



ワン・ワールド・フェスティバル

2008年2月2日～3日

今年も大阪国際交流センターで開催の「ワン・ワールド・フェスティバル」に参加しました。里親・里子の皆さんもたくさん駆けつけてくださり、賑やかに楽しく、皆様からご寄贈いただいた商品を販売し、活動についての紹介をしました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



2008新年交流会 アンケート集計

● 留学生 ●

ご協力ありがとうございました

Q1 今日の感想

- おもしろかった。楽しかった。
- 素敵な会場でいい交流会。ピンゴゲームの方が楽しかった。
- 色々な国の方々と会うことでよかったです。
- みんながワイワイ話したり遊んだり楽しかった。
- 感動した。特に留学生の為にわざわざ結婚式を行ってくれてありがたい。
- 大変楽しかった。日本の文化をはじめとするような文化に触れて勉強になった。着物を着ることが出来てよかった。
- 色々な国からの皆と楽しく時間を過ごした。感動しながら、これから私はもっとがんばって続けたい。
- いろんな国の方と触れ合って交流できて、凄く感動している。
- ショーが面白かったし、食べ物も美味しかったです。
- It was an interesting gathering. We felt we are in a unique family here. We felt that Japanese like us.

Q2 今後望むこと

- 遠足などの活動を多目にして欲しい。
- 毎年開催いただいたら嬉しい。
- このような活動が続いていくのを願っています。
- もっと楽しい学生の文化が見たい。
- また機会があったら参加したい。違う国からの留学生と交流して自分の知識を豊かにさせたい。
- もっと多くの方に来てもらって、多くの国の人と話し合い、世界の平和の実現に少しでも貢献できればと思う。

Q3 会に対しての要望

- 家族の間で運動会をしては？ 例えば1家族を1チームとしてボーリングとかを対戦する。
- 毎年この会が続いていけるように楽しみにしています。
- こういう会が続いて欲しい。
- いろんな活動に参加したい。

● 里親 他 ●

Q1 今日の感想

- ゲームで「I」列で見事ピンゴ。本当に「愛」のあふれる会になりました。
- 久しぶりにこんな温かな会に参加させていただきよかった。
- いろんな国の人と出会えてよかった。
- 会場の中にたくさんの外国の方々と一緒に居た事がなかったので貴重な体験。
- こんな会をはじめてで楽しかった。隣の人は外国の人で、違う言葉が飛び交い、初めての雰囲気で気分が高揚した。
- パシフィックダンス楽しかった。
- 異文化の人が集まる場で楽しかった。友人の幸せそうな笑顔を見る事が出来て自分も幸せな気持ちになった。
- 他の国の方たちと文化交流できたように思います。今後もこのような会を設けて欲しいと思います。
- イベントも華やかで楽しかった。
- 今日本当に楽しい1日でした。今後もこのような催しが行われる事を希望します。
- 例年より多数の参加者に本会の勢いを感じます。
- 様々な国の方がいて、この里親の会は素晴らしい。結婚した二人もこのような皆さんに助けられ幸せですね。
- 今日結婚のお祝いや余興もたくさんあり、楽しい新年会でした。他の留学生とも話す事が出来よかった。
- 楽しく有意義な一日。人間に境界はないと感じました。
- とても楽しかった。お世話くださる方が大変。ありがとうございました。
- 初参加ですが、楽しかった。何より里子が大変嬉しそうなので良かった。

Q2 今後望むこと

- このような心を暖かくする会をより多く留学生に行き渡るよう望む。
- 子供にこんなチャンスがあれば参加させたい。
- 他の国の人ともう少しお話しする機会などがあればよかった。
- こういう事をして他の国の人たちと交流をしたら良いと思う。
- 留学生と一般の私たちが交流できる場にしてください。
- 参加者の国々の多様化があればよいと思います。
- もっとみんなで話し合える場にして欲しいです。
- 留学生同士、留学生と日本人の交流が進んで、そこから一人一人が興味を持って政経問題や社会問題に取り組んでいければよいと思う。世代、人種、国籍を超えた関係をこのような場を通じてはぐくんではいけないと思う。
- 留学生にとって里親の皆さんとのふれあいがとてもうまく機能しているように思います。

Q3 会に対しての要望

- より多くの参加型の集いを開催していただければ幸い。
- 誰が留学生か里親かわかりにくいので名札などがあると話しかけやすい。
- 世話人の方々のご苦労に厚くお礼申し上げます。
- 里子の皆が多く来て頂き、今後もこのように賑やかにパーティを希望します。里子に着物を着せていただきありがとうございます。来年も着物の着付けをお願いします。

● 編集後記 ●

編集局長 田間 貞雄

留学生さんとおやの会の「里親・里子だより」の第八回発行の原稿を里親・里子の方々からお寄せいただきまして有難うございました。

第七回の「里親・里子だより」の発行以後の行事は、昨年十月十三日の京都伏見・宇治への交流遠足。二十年一月十四日の新年会の行事と、大勢の友人に囲まれて、大森さんの里子・呉恵恵さんと、李宝進さんの結婚式がありました。一月十九日には、大阪日本語教育センター「留学生歌と踊りのフェスティバル」の審査員。二月二～三日のワンワールドフェスティバルの行事がありました。ご多忙の中お越しいただきました。誠にありがとうございました。おかげさまで無事終了することができました。

次号第九回発行に向けての里親・里子さんの日常の出来事や、皆様のご希望などの原稿をお願いいたします。

